みんなで未来の高校のアイデアを考えよう！

# しがの高校をリ・デザインする県民ワークショップ



**第５回　開催報告**

**11月1日（日）**
**13:30～16:00**

# しがの高校をリ・デザインする県民ワークショップ

## 第５回 開催概要

日　時：2026年11月1日(日) 13:30～16:00
会　場：東近江市・能登川コミュニティセンター
参加者：25名
主　催：滋賀県教育委員会

### 当日のスケジュール

| | |
|---|---|
| **13:30** | 開会・教育委員会からの説明 / WSの説明 |
| **13:55** | 第１部① 高校のいいところ・チャレンジできるところ |
| **14:20** | 第１部② これからのしがの高校への提案 |
| **14:40** | 休憩 |
| **14:50** | 第２部　テーマごとに、提案を１つに育てよう！ |
| **15:35** | 発表・共有 |
| **15:55** | まとめ |



### このワークショップについて

滋賀県では、2040年を見据えた高校教育の将来ビジョンの策定を進めています。本ワークショップは、その検討に県民の声を反映させるため、中高生・大学生から保護者、教職員、地域・企業の方まで、さまざまな立場の人が集まり、これからの高校の在り方を対話で考える場として県内6か所で開催します。

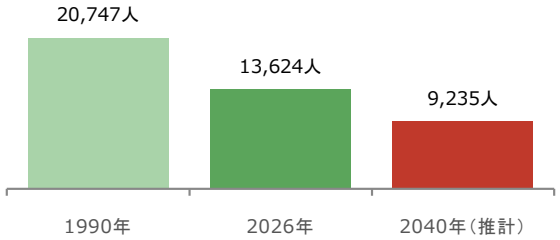
### 参加者

高校生16名、保護者・PTA1名、教育関係者1名
企業・教育事業・NPOなど3名、行政・議会4名

# 2040年を見据えた高等学校教育の在り方について

## 滋賀県教育委員会から、滋賀県の高校教育を取り巻く課題について説明がありました

### 1 生徒数の減少




滋賀県の15歳人口（中学校卒業予定者数）は、2026年から2040年までに**約4,389人減（約110クラス分に相当）**の見込み。

- ✓ **生徒数の減少に合わせた学校規模の検討**
- ✓ **地域の実情に応じた配置・役割**
- ✓ **多様な学びの場の確保**

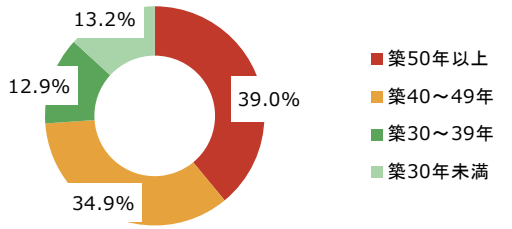
### 2 学びの多様化と授業料無償化

**学習ニーズの多様化**
- 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた学びの多様化への対応
- 不登校生徒の増加に伴う対応や、外国人生徒等の多様な学びへの対応

**地域とのつながりによる学びの展開**
- 地域や企業との交流、地域人材の活用等による高校教育の魅力化
- 地域課題の解決に主体的にかかわる、地域の将来を支える人材の育成
- 地域の小中高の学校段階間の円滑な接続

**国による高校授業料無償化の拡大（令和8年度～）**
- 公立・私立を問わず経済的負担が軽減
- 県立全日制高校の平均志望倍率が1倍を切る
- 県内私立全日制高校への志望割合が15.9%で過去最高

### 3 校舎等の老朽化




- 将来的に多くの学校で改築や大規模改修が必要となり、その経費負担が大きな課題に。
- 魅力化の観点から、施設・設備の充実（専門的な学びに対応した設備機器、体育館空調など）も必要。

### 4 課題のまとめ

多様な生徒一人ひとりが「滋賀」という地域から学び、社会の一員としての自立を目指す学校づくりを進めるとともに、時代に合わせた新たな学び、県立高等学校の配置の在り方等を検討し、**生徒、保護者から進学先として選択される、魅力ある高校づくり**を進めていく必要がある。

# セッション１ ：高校の いいところ / チャレンジ

## 東近江地域・滋賀県の高校について、2つの視点で意見を出し合いました

### いいところ・残したいところ

| | |
|---|---|
| **地域・歴史** | ・近江商人や安土城など、歴史を学べる<br>・二五八祭など地域のお祭りとのコラボ<br>・自然が多く水がキレイ、特産品も豊富<br>・いなか特有のいやし、ゆっくりできる場所 |
| **地域・人** | ・地域の人との交流があり、温かい人が多い<br>・日野のコーディネーターや日野高カフェ<br>・先生と生徒の距離が近く、先生が熱心<br>・卒業生や世代を超えた先輩・後輩のつながり |
| **学び・進路** | ・普通科・専門学科・総合学科、系列が豊富<br>・看護科の実習や探究の授業が楽しい<br>・的確な進路指導、アントレプレナーシップ教育<br>・夜間・単位制・通信など多様な高校がある |
| **学校生活** | ・文化祭・体育祭・球技大会が楽しい<br>・部活の本気度が高く、校風が自由<br>・ヴォーリズ建築の校舎、広い運動場<br>・ガチャコンやJRなど交通が整い、京阪にも近い |

### チャレンジできると思うところ

| | |
|---|---|
| **学校をこえる** | ・他校との交流や合同イベントを増やす<br>・近くだけでなく滋賀県全体の高校とつながる<br>・部活の移籍や、学校をこえた仲間づくり<br>・大学との連携、インターンへの参加 |
| **地域・社会と** | ・地域とコラボして単位がとれる<br>・祭りや伝統行事、近江商人を現場で学ぶ<br>・企業とコラボ（フードロス対策など）<br>・空き家で文化祭、地域の人がふらっと寄れる場 |
| **新しい学び** | ・金融教育・投資の授業<br>・AIやドローン、SNSなど最新技術の活用<br>・リベラルアーツなど座学以外の学びの充実<br>・学力格差の解消、学び直しの機会 |
| **制度・環境** | ・校則のルールメイキングを生徒で、スマホ使用<br>・バイトOK、バイトで単位がとれる<br>・学食・売店、校内カフェやレストスペース<br>・通学の補助、交通費や電車の本数の改善 |

# セッション２：これからのしがの高校への提案

## 一人ひとりが「アイデア提案シート」に提案を書きました（一部抜粋）

### 学校の枠をこえる

**県内全部、姉妹校！！**

県内どの高校とも姉妹校に。晴れたら遠くの高校、雨なら近場で。どの学校の部活にも参加OK

**滋賀県高校 学園祭**

一人ひとりの得意や興味を大規模に交流させ、主体性を高める。各校の特色もはっきりさせる

**学校対抗プレゼン大会！**

「ウチはこんなスゴいんだぞ」。各校の取組とその理由を年1回発表し、いい案は取り入れ合う

**他校や地域を使いたおす！**

1つの学校でフル装備は諦め、仲間を増やして資源をシェア。他校の授業も受けられる

**他校の人と一緒にやる授業**

オンラインや協同授業で他の学校で学ぶ。商業科どうしで売上対決も

**県立高校体験会**

高校の授業や取り組みを広く知ってもらい、地域交流や進路選択のきっかけに

**スマホの使い方や人とのつながり**

スマホの使い方の授業、クラス替えのアンケート、八幡の工業・商業など市内の他校と交流

**交流**

他校や他県の人と交流。地域の人や他校の生徒と協同で何かを作り、イベントを開催する

### 地域・社会とつながる

**滋賀カフェ（日野カフェ＋）**

高校生が空き家でカフェ。農業高の野菜、湖北の水でコーヒー、信楽の皿など各地の特色を取引

**地域で文化祭**

模擬店や教室展示を商店街や空き家で。地域の人たちと作り上げる交流の場に

**地域と高校のかきねをとっぱらう！**

校内に近所の人・企業・お店がふらっと寄れる場所を。「いっしょに企画しよ～」を持ちこめる

**校内マッチングカフェ**

地元企業が運営し、メニューは生徒が授業で決める。地元の大人が生徒に「おごれる」仕組みも

**学生と地域事業者と行政**

学祭などを事業者や行政も交えた事業に。八幡商業の近江商人再生プロジェクトのように

**高校生が主役の祭り**

大学・企業・地域を巻き込んだ壮大な祭りで地域振興。役割を明確にし、進学・就職にも生きる

**住んでいる場所を深く知る学習**

「うみのこ」を中高にも。滋賀ならではの学びを中・高のレベルで、他校との交流も

**地域を愛する高校**

地域との結びつきをより強く。将来はUターンを望むような学校であってほしい

### 生徒がつくる学校

**時代の流れに寄りそう校則へ**

校則を毎年見直し、生徒が投票・立案。祭りや行事にして、身近で納得のいくものに

**自分たちでルールを作れる学校へ**

スマホの使い方、登下校の服装、お昼寝タイム、バイトなどを、みんなで意見を出して決める

**見た目は学びに影響しない！**

容姿に制約をかける校則をなくし、モチベーションを上げる

**高校生と創る学校**

高校生が意見を言いやすい環境と、それを反映していくために一緒に話し合う場を

**子供自身が主役だと感じられる教育を**

転校しやすくして居場所を見つける。匿名の相談会や意見交換で、大人と対等に話せるように

**みんなが輝ける高校づくり**

一人ひとりの個性を大切にして尊重し、自分の思いをしっかり伝えられる環境に

**地域に根ざした自由校！**

校則は必要最低限に。地元の小中学校と町をつくり、3年間でやりたいことを見つけられる場に

**高校生の仲間づくりのデザイン**

クラス・部活・趣味・地域活動・バイトで多様な縁を。「クラスガチャ」をどう抜け出す？

### 学び方・進路を変える

**企業で授業、学校で私は先生になる**

月～水は地元企業で授業、木は「人生の授業」のスライド制作、金は先生になって互いに授業

**勉強の概念を変える取り組み**

社会に出て必要な勉強を増やす新しい科目を。NISAや税、就活の勉強、専門的な勉強など

**将来のために学べる学校**

座学以外の勉強や、就活・税金のことについて学ぶ

**自分の「好き」を突きつめられる授業**

人との対話で意外な自分に気づく。「やりたいこと決まってないねん！」って人をなくす

**人・地域・仕事に出会えるポータル高校**

オンラインで部活・バイト・教科の情報を得て、対面で学び、地域でつながる

**もっと交流が盛んな学校**

多様な大人や他地域の学校と交流し、大人になることへのワクワクを高める

**“学校外”との連携が充実できる環境**

地域を巻き込んだ課外活動、人手が足りない地元へのバイト紹介。大学とも研究を広げる

**未来の高校生の為にこうなっていたら**

授業・科目を教員と相談しながら自由に選べる仕組み、部活の移籍、SNS等での情報発信

# セッション３：テーマごとに、提案を１つに育てよう！

## テーマ別のテーブルで提案シートをまとめ、AIでイメージ画像にして発表しました

① テーマのテーブルへ ▶ ② 提案シートを作成 ▶ ③ AIでワンシーンを画像化 ▶ ④ スクリーンで発表




**A｜テーマパーク型全校学園祭**
県内の高校生と地域の人が3日間楽しむ学園祭




**B｜地域が学校**
文化祭を起点に、まち全体がキャンパスに




**C｜税金・年金の仕組みを知りたい。**
平日週1日の地域バイトで、給与と税金を体験




**D｜合同高校生フェス・スクール**
滋賀を巡る！校舎ゼロで県内の高校を巡る




**E｜小人数で濃く、地域深く！**
琵琶湖の島や船の上の、小さな高校




**F｜滋賀県立湖国統一高校**
自分でカリキュラムをつくれる高校




**G｜学校を多党制民主主義に**
三権分立で、意見の風通しを良く




**H｜グッバイルール月間 ～自由を求めて～**
1か月校則をなくし、先生と討論

# 参加された方の声（アンケートより、一部抜粋）

## Q1　今日の話し合いで、いちばん印象に残ったのはどんな話でしたか

・「生徒会の三権分立」という案は私の発想を越えた案で、意見のかたよりを防ぐために本当の選挙にならってみるのは印象に残った。
・高校によって校則の厳しさが違うけど、生徒が主体となりたい、変えたい思いは同じだったこと。
・授業を生徒自身で作るというもの、滋賀県の高校すべてを姉妹校にするというものが印象に残った。
・1つの高校でやるのではなく、他校や企業と連携した取り組みなど、自校以外と交流して初めて得られる考えや意見を知ることができた。
・現役の高校生の意見がユニークで元気のあるものが多いと思いました。パワーを伸ばす方向で支えていけるようにしたいと思いました。
・高校生は自分たちの手でできることを増やしたいという意欲がある子が多かった。また、多様な大人と知り合う機会、学ぶ機会を求めているのは世代問わず強いと感じた。
・高校生が自分の考えや主張をはっきり伝える姿が印象的だった。ただやりたい事を主張するのではなく、自分達（生徒側）の責任についても考えたうえで発言していたのが印象的。
・どこのグループも地域での関わり等を重視しているように感じた。滋賀県内の学生、地域、行政も含めて、しがの高校を創っていけたらですね。
・「うみのこ」を中・高生にも体験して、琵琶湖のすばらしさを再認識してもらおう。

## Q2　今日、伝えきれなかったことはありますか

・つなぐということがやはり大事になってくると思うので、役割として担ってくれる人が必要というのと、授業や仕事にもう少しゆとりが欲しい（教員）。
・どの高校にもある得意分野を共有し、共同で何かイベントなどを行うなど。
・全校学園祭を1つの会場でなく、各駅の駅前にして滋賀をめぐる。
・校則のゆるさ・きびしさのちがいは、良くいえば学校のみりょくになるけど、異なることで生まれる不満もあるのかなと思いました。
・私立に通う、もしくはめざす子たちに、なぜ私立がいいのか聞いてみるのもいいのではと思いました。
・知事など要職の方と話す機会を増やしてもいいのでは。

## Q3　今後、こんなことを話し合ってほしいというテーマはありますか

・学校に行きたくない、面白くないと感じる生徒への接し方について。
・高校生が主体的になるために何が必要か？
・地域への愛着を深めるにはどのような学びが重要になってくるか。
・高校生が今まさに望んでいることを出し合うこと。遠慮があって、まだまだ本音を聞けていないこともあるように思う。
・「地域に開かれた」「主体性を育む」「長所を伸ばす」どれも聞こえはいいですが、そういう雰囲気が苦手な子もいると思います。「学校になじみやすい」という視点も大事にできたらと思います。











# 会場の様子